

3月は卒業シーズンです。1つの区切りとなる時期に、人権意識をしっかり持って卒業してもらいたいと、人権講演会を行う学校もあります。いじめ、差別、人格否定など、意識がなく些細なことから始まることが多く、また何か問題が起きたときに学んでも、時間が経つと忘れてしまいがちになります。そういった意味では、卒業という次のステップに向かう時期に、大切な人権についてあらためて意識してもらうことは非常によいことです。新たな環境でも、しっかり人権意識を持って活躍してもらいたいと願います。



“発達障がい”への理解を深めるために

親が子育てで頻繁に“育てにくさ”を感じる場合、その原因の一つに“発達障がい”が(グレーゾーンも含めて)あることが少なくありません。子どもに“発達障がい”の傾向がある場合、親が早期に気づいて適切に対応してあげることは、その子の健やかな発育のために非常に大切です。子どもの発育に大切な自尊感情は、乳幼児期から発達しているからです。

長期間、親などから繰り返して不適切な対応をされ続けると自尊感情が低くなり、うつ症状や虐待、反社会的行動などの二次的障がいを生じさせる要因にもなります。文部科学省の2022年調査によれば、通常の学級に在籍する小中学生の8.8%(約12人に1人の割合)に、学習や行動に困難のある“発達障がい”の可能性があると明らかになりました。近年の増加の背景には、平成17年の発達障害者支援法・施行以来、世間の発達障害への認知の広がりがあるとみられ、子どもの個性に応じた支援策の充実が求められています。

それでは、山梨県内で子育てをしている家庭では、子どもの発達障がいに関する相談をどこにすればよいのでしょうか？各市町村の子育て支援担当課等に、相談窓口はあります。専門的な相談支援機関としては、山梨県総合教育センター(子どもの発達相談(Tel.055-263-4606))や山梨県こころの発達総合支援センター(Tel.055-288-1795)が、平日の9時から17時まで受け付けています。他にも県内に数多くの支援機関があり、山梨県のホームページで見ることができます。(※1:「やまなし発達障害者支援ガイドマップ」参照)また、国立特別支援教育総合研究所(発達障害教育推進センター)では、発達障害のある子どもの教育的支援に必要な基礎的な内容について、個人や職場での研修に役立つ分かりやすい講義を動画(25本)及び配布資料(ダウンロード可)で配信しています。(※2)

その冒頭の笹森洋樹センター長による講義「ちょっと気になるが出発点」では、「学習面でちょっと気になる」「行動面でちょっと気になる」「対人関係でちょっと気になる」などの具体的ケースを取り上げ、どのようにして発達障がい特性のある子どもに気づいて支援をしたらよいかを解説しています。

笹本氏は、「同じ診断名でも、一人一人特徴は違います」「どのような支援が必要なのか、“特性の理解”が大切です」「できないということではなく、できるためには支援が必要ということです」「特性に応じた、学びやすい方法の工夫すること」「うまくいかなければ、方法を変えていく柔軟性が大切」等と強調しています。発達障がい特性のある子どもへの支援について、とても大切なアドバイスだと思います。

(※1) やまなし発達障害者支援ガイドマップ (子どもの発達障害・相談支援機関のご案内)



(※2) 国立特別支援教育総合研究所 (発達障害教育推進センター・研修講義動画)



活動報告

人権啓発講演会

2月22日(水)、甲府地区広域行政事務組合消防本部にて、「地域住民の人権を守るために、今できること～消防職員として、一市民として～」と題して、講演会を開催しました。2月28日(火)、市民向け講演会「弱い立場の人に寄り添う生き方をめざして」を開催しました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株) 成心設備、西関東開発 (株)、(株) ウィルマート、(株) R&C、(株) フジコー、(株) 渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株) とちの木

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲斐市立双葉小学校 (五年生女子)

今日は人を思う気持ちの大切さについてお話ししていただき、ありがとうございます。私は「一人では生きていけない」という言葉が心に残っています。なぜなら一人だったら楽しくないし、さみしいと思っただけです。なので友達や相手の事を考えて行動しようと思えました。人にやさしくする事、人を思う事、人を大切にすることはとても大切な事だと思いました。最初私は人にゆずったり人に声をかける事は勇気が必要だし、はずかしいという気持ちがありました。ですが話を聞いて、むずかしい事を考えるのではなく一歩ふみ出せばいいだけという事に気づきました。だからこれから、体の弱そうな人に声をかけてみようと思いました。そして「人けん」という言葉は知らなかったけど主張するけんりという意味を知れてよかったです。そしてどんな事がある、でも差別や人を殺してしまう事はだめだと思いました。今日教わった事を心にずに行動してみようと思いました。

甲斐市立双葉小学校 (五年生男子)

みんな生きる権利を持っている。このことか人権において、最も大切だと考えます。自分だけ幸せになればいいと考える人はこの世にいてはいけません。転んでいる人を見かけたから手を差し伸べる、こんな小さなことをたくさんしていればいつかみんな幸せになれるでしょう。私も助けを求める人に手を差しのべられるような人になりたいです。命がけで困っている人を助けるすがたがかっこいいと思いました。死んでしまってもいいけんばに自らいく勇気が私にはありません。けれど、人権について知ったので自分ができる事をさかしていきたくです。人は生きる権利を持っていて、その権利をかんたんにうばうてはいけません。改めて思いました。人権というものはだれもが必ずしも、持っているもので、一番大切なものだと分かりました。だから人権ということを知った私たちは、自分たちの住む地球のために行動していかなければいけないと思いました。